

受験番号
氏名
模範解答
得点
100

問一	ア	3
問二	イ	1
問三		2

問四	4
問五	1
問六	2
問七	3

問八

自然	は	刻	一	刻	と	変	化	し	て	し	ま	う	の	で	、	人	間	が
その	ま	ま	表	現	し	よ	う	と	し	て	も	、	変	化	に	追	い	つ
き	反	映	さ	せ	る	こ	と	は	で	き	な	い	と	い	う	こ	と	。

6点

問九

水墨画は	他人	から	教	え	ら	れ	る	も	の	で	は	な	く	、			
実際に	描	く	こ	と	で	自	分	で	つ	か	み	と	る	し	か	な	い
描	く	こ	と	で	自	分	で	つ	か	み	と	る	し	か	な	い	。

5点

問十	1
----	---

4点

問十一

水墨画とは	現	実	を	あ	り	の	ま	ま	に	描	く	も	の	で	は				
その	ま	ま	描	く	も	の	だ	と	考	え	て	い	る	。	に	よ	っ	て	、
し	さ	や	本	質	を	、	素	朴	で	単	純	な	筆	致	に	よ	っ	て	、
な	く	、	自	分	の	心	が	と	ら	え	た	そ	の	も	の	持	つ	つ	、

7点

問一	4
問二	1
問三	4

問四

(2)	(1)	
き	そ	丈
と	の	夫
同	木	で
じ	が	粘
方	生	り
向	え	が
で	て	あ
使	い	る
う	た	
	と	

こと。

15

20

という工夫。

4点×2

問五	A	節
問六	3	
問七	癖を悪くすること	

完答4点

4点

4点

問八

れ	そ
に	の
合	木
わ	の
せ	癖
た	を
使	出
い	さ
方	せ
を	て
考	性
え	質
る	を
こ	見
と	ぬ
	き
	、
	そ
	れ
	ぞ

30

40

6点

4	1
縦	漁
横	船
5	2
律	散
する	策
6	3
総	徒
が	党
かり	

2点×6

12

6

12

8

12

7

4

5

6

16

12

〔記述式解答の採点について〕

第二回

一 問九

【模範解答例】

(水墨画は) 他人から教えられないものではなく、 実際に描くことで自分でつかみとるしかない (という意味。)

(教わるものではない 2点)

(対象に向き合って自分で見つける 3点)

〔36字〕 (配点：5点)

【満点を与えた解答例】

(水墨画は) 描こうとするものと向き合ってどう描くかをつかむもので、自分にはもう教えられない (という意味。)

〔39字〕

【部分点を与えた解答例】

(水墨画は) 私にも伝えられないものがあり、 この菊が植物画の根幹の技法を含め教えてくれる (という意味。)

(自分には教えられない2点)

〔37字〕 (部分点：2点)

〔採点のポイント〕

・私ではなく菊から教わる、ということろまでは良い視点だが、「対象から教わる」というのはどいうことなのかまで考えて説明してほしい。「菊が教えてくれる」は比喩的な説明にとどまっている。3点減点。

一 問十一

【模範解答例】

(絵空事) の説明 3点 (自ら感じとって描く 2点) (対象の美しさ・本質・どんなものか 2点)

水墨画とは現実をありのままに描くものではなく、筆致によって、そのまま描くものだと考えている。

〔76字〕 (配点：7点)

【部分点を与えた解答例】

(絵空事) の説明 3点 (自ら感じとって描く 2点)

実物とそのまま同じになるように描くのではなく、水墨画がその人にとって正解の水墨画と思えるもの。

〔79字〕 (部分点：5点)

〔採点のポイント〕

・実物をそのまま描くのではなく、自ら感じ取ったものを元に作り出すものだ、という湖山先生の「絵空事だよ」という言葉の意図はつかめているが、どのようなものを絵に描くのかの説明が足りない。「これまでの問いで考えたことを踏まえて」という指示を踏まえて書くこと。減点2点。

二 問八

【模範解答例】

(癖を出させる) 2点 (木の性質を見ぬく 2点) (その木に合った扱い方を決める 2点)

その木の癖を出させて 性質を見ぬき、 それぞれに合わせた使い方を考えること。

〔36字〕 (配点：6点)

【部分点を与えた解答例】

(癖を出させる) 2点 (木の性質を見ぬく 1点) (木に合った扱い方 1点)

癖を出させてから使えば、その木の癖を見取ることができて使いやすくなるということ。

〔40字〕 (部分点：4点)

〔採点のポイント〕

・見取るものを「木の癖」にしている点が、癖を含めた全体的な「性質」を見ぬくという本文の説明よりも部分的になってしまっている。また、「使いやすいになる」という表現も結果的にそうなっただけという印象を与え、「使う側が決めていく」という本文の説明に合っていない。それぞれ減点1点。